

文化課関係

1 文化芸術振興事業

(1) 文化芸術事業

事業名	期間	内 容	参加・入場者等
第43回 鹿沼市民 文化祭	10.16 ～ 12.5	市民の自主的・創造的な芸術文化活動の支援と本市文化の向上を図ることを目的として、市民文化センターを主会場に開催。24事業のうち、新型コロナウイルス感染拡大により開幕式および9事業を中止した。	参加者 614人 入場者 1,890人
第50回 市民美術展	7.14 ～ 7.18	美術を志す若者の登竜門的な美術展で市民文化センターを会場に開催	出品数 69点 入場者 523人
第49回 市民書初め展	1.19 ～ 1.23	市民書道愛好家の底辺拡大及び会派を越えた交流の場として、市民文化センターを会場に実施	出品者 80人 来場者 291人
市民文化芸術 交流の日 「meet with KANUMA」	10.30 ～ 10.31 ・11/3  11.21	世代を超えた市民が新しい文化芸術をともに創るため、交流を深める日「meet with KANUMA」第3回記念イベントとして「みんなで描こう黒板アート」（制作日10月30日～31日、公開日11月3日）を旧栗野中学校で実施。さらにアートによるまちづくりの先進地からパネリストを招いてのシンポジウム「アートがつなぐ地域・人・そして未来」（11月21日）を栗野コミュニティセンターで行った。	黒板アート参加者 76人（16組）  シンポジウム参加者 35人
移動芸術教室	6.28	青少年に優れた公演を直接鑑賞する機会を提供し、芸術文化活動への機運を醸成するため、清洲第一小で移動音楽鑑賞教室を開催。（清洲第二小も参加） 内容：サクソフォン、チェロ、ピアノのコンサート	児 童 69人 教職員等 22人 合 計 91人

(2) 文化団体育成事業

事業名	内 容	金 額
団体運営補助事業	本市の中核的な文化団体である「鹿沼市文化協会」への運営補助を行うとともに、市内の文化活動団体が主催する文化事業への後援等の支援を行った。	579,000円
市民音楽活動支援事業	青少年の音楽活動の底辺拡大を図るため、「鹿沼ジュニアフィルハーモニーオーケストラ」への運営補助及びコンサート活動への後援を行った。	1,000,000円
	音楽を通して青少年の健全育成と豊かな情操を培うため、「さつきドリーマーズバトントワーリング」と「さつきドリーマーズマーチングバンド」の運営補助を行った。	2,000,000円

## 2 文化芸術施設管理・運営

### (1) 市民文化センター

指定管理者に委託し、管理・運営を行った。

ア 委託先 公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団

イ 委託内容

- (ア) 施設等の維持管理に関すること。
- (イ) 施設の利用に関すること。
- (ウ) 使用料の収納に関すること。
- (エ) 文化振興事業の推進に関すること。

ウ 委託料

公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団 181,804,306 円

※公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団の事業実績は、本書末尾に記載のとおり（体育文化施設利用状況、体育文化事業実施状況）。

エ 利用人数

単位／人

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
入館者数	2,021	5,430	3,153	6,460	1,038	0	
区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	2,981	3,434	8,132	2,956	1,472	3,359	40,436

※8月8日～9月30日は新型コロナのため利用休止・休館。

オ 施設改修工事

長寿命化を図るため、計画的修繕を実施した。

施工場所	内 容
ワイヤレスマイク設備	電波法改正により現行の機器が使用できなくなるため、設備一式を交換
中央制御装置	大小ホール空調設備の中央制御装置の更新

### (2) 千葉県三記念館

ア 利用人数 317 人

## 3 文化財保護事業

### (1) 文化財保護審議会

ア 会議

名 称	月 日	会 場	内 容	出席者
文化財 保 護 審 議 会	5.12	市民文化センター中会議室	会長・副会長の互選、有形文化財の指定について、令和3年度文化財係の事業	11 人
	12.3	市民文化センター中会議室	有形民俗文化財の指定解除に対する諮問、文化財保存活用地域計画について	8 人
	3.29	市民文化センター中会議室	有形文化財の指定に対する答申、文化財保存活用地域計画について	10 人

イ 調査・研修等

名 称	内 容	出席者
第1部会	妙見菩薩、姫宮・十二社神社本殿、饗茶庵花蓮、板屋店舗調査	のべ4人
第2部会	相澤宿銅扉調査	のべ3人
第3部会	麻栄業之凶調査	のべ6人
第4部会	ザゼンソウ群落、成就院・西沢町しだれあかしで、植物標本調査	のべ16人

(2) 文化財の指定と保護

ア 指定

名 称	員数	種 別	所在地	所有者	指定日
岩裂神社鱧口	1口	有形文化財 (歴史資料)	草久 2040	個人蔵	4.22

イ 保護事業

事業名	内 容	補助金額
指定文化財 保護事業	今宮神社祭の屋台行事に使用する屋台の収蔵施設を所有する3自治会に、その地代を補助した。	228,000
	今宮神社祭の屋台行事を継承するため、上田町・石橋町屋台、玉田囃子上組保存会・楡木日の出町お囃子保存会所有囃子太鼓の修理に対し、補助金を交付した。	1,430,000円
	発光路の強飯式の後継者育成事業に対し、補助金を交付した。	200,000円
	奈佐原文楽の保存伝承事業に対し、補助金を交付した。	200,000円
	医王寺防犯対策監視カメラ設備設置事業に対し、補助金を交付した。	324,000円
	医王寺金堂箱棟の修理に対し、補助金を交付した。	2,051,000円
	妙見寺妙見菩薩立像・妙見菩薩倚像の修復に対し、補助金を交付した。	1,970,000円
	久野小松神社本殿胴羽目彫刻の修理に対し、補助金を交付した。	221,000円

(3) 埋蔵文化財

内 容	月 日	説 明
発掘調査	通 年	産業団地整備に伴う下台原東遺跡(深津)、工場建設に伴う松の木遺跡(下石川)の発掘調査を実施した。
市内遺跡 試掘確認調査	通 年	本調査の必要性の有無等を把握するため、集合住宅建設に伴う宝龍内遺跡・明神前遺跡(上殿町)、鹿沼城跡(上材木町)、店舗建設に伴う寺田遺跡(深津)、土砂採取に伴う栃木道東遺跡(池ノ森)、芝原内遺跡(深津)の6件の確認調査を実施した。
出土遺物整理	通 年	明神前遺跡(上殿町)、鹿沼城跡(今宮町)の発掘調査により出土した遺物を整理した。

## (4) 郷土資料調査・保存・活用

内 容	月 日	説 明
郷土資料の収集と調査	通 年	16家・団体の古文書等の収集・調査、歴史的公文書の選別・収集を行った。
郷土資料の整理と保存・活用	通 年	資料の公開・活用を図るため、マイクロフィルム9本と「鈴木石橋肖像」等143点の資料のデジタル化を実施した。
	3月～	市ホームページにおいて「鈴木石橋肖像」等143点の画像データを公開した。
	通 年	栗野コミュニティセンター内の自然史資料室において、昆虫標本・植物標本資料の整理・分類作業を実施した。
	通 年	郷土愛教育推進のため、小中学校での出前講座を5校、資料貸し出しを1校で実施し、授業支援を推進した。
刊行物の販売	通 年	文化課・図書館等で、『鹿沼市史』関連書籍72冊(107,800円)、文化財関連書籍15冊(19,000円)を販売した。

## 4 鹿沼まるごと博物館と展示施設管理

## (1) 施設管理・運営

施設名	内 容	入館者数
文化活動交流館 郷土資料展示室	彫刻屋台、名誉市民・郷土の人々、歴史年表、遺跡と出土遺物、生活に関する民俗資料等を展示。郷土資料展示室管理運営協議会に案内と施設管理を委託し、地域文化の保護および活用に努めた。	4,013人
仲町屋台公園 屋台展示収蔵庫	彫刻屋台を展示。仲町屋台維持管理協議会に委託し、展示収蔵庫の維持管理を行った。	—
栗野歴史民俗資料館	横根高原の自然と特産品である野州麻をテーマに展示を実施し、旧栗野町域の特色と歴史を紹介した。	2,665人
木のふるさと 伝統工芸館	彫刻屋台、伝統工芸品を展示。石橋町自治会に管理を委託し、展示案内、組子づくり体験を実施し、木のまちかぬまのイメージアップを図った。	4,059人

(2) 鹿沼まるごと博物館

鹿沼まるごと博物館は、市全域を博物館として捉え、従来の博物館資料はもちろん、美しい自然や文化財など建物に収まらない地域資源にも目を向ける総合的な博物館で、平成 27 年度に策定した「鹿沼まるごと博物館基本計画」に基づき、事業を推進した。

ア 各種事業

内 容	月 日	説 明
「鹿沼のムシと世界のムシ」展	6.26～ 8.19	市民文化センターのプラネタリウムロビーで、昆虫標本を活用した展示を開催した。入場者数 1,225 人。関連イベントとして「森と野原の生きもの観察」を生きがいの森(栃窪)で開催し、33 人が参加した。
「災禍の祈り」展	2.3～ 2.13	第 7 回企画展として市民文化センター多目的ギャラリーで開催した。入場者数 335 人。関連イベントの記念講演会、ギャラリートークは、まん延防止等重点措置期間となったため中止した。
市民学芸員養成講座	1.20	地域において主体的に博物館活動を行う人材を養成し、博物館活動の協働を実現するため、担い手となる市民学芸員の養成講座を実施した。第 1 回を 1 月 20 日に実施（15 人参加）したが、2 回目以降はまん延防止等重点措置発令のため令和 4 年度に延期した。